

令和 8 年度 事業計画書

自：令和 8 年 4 月 1 日

至：令和 9 年 3 月 31 日

一般社団法人 大学アライアンスやまなし

1. 活動方針

一般社団法人 大学アライアンスやまなし(以下「本法人」という。)は、大学相互間や大学と研究機関等との間における連携推進事業を行い、教育、人材育成、研究及び運営に係る各種事業を円滑に実施できる仕組みを構築することを目指している。

本法人が令和 3 年 3 月に全国初となる“大学等連携推進法人”に認定されたことで、参加法人会員(以下「参加大学」という。)は、令和 3 年度から教学上の特例措置を活用した“連携開設科目”を開設し、対象分野の拡大とともに、教養教育分野の科目数を増やすなど、学生の選択肢拡大に向けた教育連携等の強化を推進している。

令和 8 年度においては、引き続き、教養教育、看護教育、幼児教育及び教職分野において連携開設科目を開講するとともに、学部専門科目として、「知(地)のソーシャルキャピタル～学びの山梨モデル～構築事業(SPARC)」(以下「SPARC 事業」という。)の実施に伴う連携開設科目を次年度以降の開講に向けて設置する。

これら SPARC 事業の実施にあたっては、本法人の枠組みにおいて、大学間の連携及び調整に協力していく。

また、各検討 WG により、第 2 期中期事業計画(令和 6 年度～8 年度)の取組を着実に進め、次期中期事業計画の策定に向け、これまでの連携事業に対する検証を行うなど、事業継続に向けた取組を行っていくとともに、管理運営に係る共同調達や合同の教職員研修の開催等の連携事業を継続して実施する。

上記取組について、高等学校等の教育機関や地域社会に広く周知できるよう、広報活動の更なる充実を図る。

更に、県内の他の高等教育機関との連携に向けて、必要な調査・検討、情報交換等を積極的に進めていく。

これら、幅広い分野における事業の企画等においては、参加大学と連携を強化することで密接な協力体制を構築するとともに、地域社会からの要望等を踏まえつつ、大局的な視点を取入れ、本法人が参加大学に対して適切にガバナンスを掛けることで、連携事業の推進や実行性を担保していく。

本法人の枠組みにより、参加大学の機能強化を促進できるよう、柔軟かつ迅速に対応し、前例にとらわれない方法や仕組み等を積極的に取り入れていくとともに、予算や人員などの資源を優先して投下し、本法人の運営体制及び参加大学の組織整備を遅滞なく進めていく。

2. 事業計画

2-1:総務関係

2-1-1:会議等の開催

本法人の事業運営及び財務等に関する重要事項の審議や、本法人に対する多様な意見を把握するとともに、運営に反映するため、次の会議等を開催する。

また、参加大学間で行う各種連携事業等の実施に必要なルール等を制定するなど、円滑な事業を実施できる環境整備に取り組むこととする。

更に、理事会の傘下に設置した委員会においては、参加大学間で行う具体的な連携事業に係る企画及び本法人の中期的な事業構想等の検討や、教学面での管理体制を整備し、教育に係る連携事業及びその質保証を担保する。

- (1) 総会
- (2) 理事会
- (3) 大学等連携推進評議会
- (4) その他 会議等
 - ・ 連携事業実施委員会
 - ・ 教育の質保証委員会
 - ・ その他

2-1-2:事務局の運営

本法人の事務局では、会員との正確かつ迅速な情報共有を図るとともに、参加大学間で効果的な連携体制を構築する。また、一般社団法人の運営に係る各種会議の開催及び諸手続きや、大学等連携推進法人制度に係る届出・報告をはじめ、法人運営を円滑に行っていくため、次の事業を行う。

- (1) 事務局組織の機能強化
- (2) 法人・事務局運営に係る業務改善
- (3) 法人運営に必要な各種規則等の整備
- (4) 関係機関等への諸手続き
- (5) 法人の運営及び活動に係る各種情報収集等

2-1-3:広報機能の強化

本法人の活動状況や参加大学間における連携事業の取組を、参加大学の学生、県内高校生及び地域の方々に広く周知するため、ホームページの充実、チラシの配付及びポスター掲示等の活動を引き続き行う。また、公式 Instagram において、連携開設科目の PR や両大学の施設紹介等の発信を行うなどの効果的な情報発

信も継続して行う。

更に、県内高等学校の進路指導担当教諭に本法人の活動について説明する取組を実施し、各校を訪問して意見交換を行う。

2-2: 大学等連携推進事業関係

2-2-1: 大学等連携推進事業の運営体制の強化

地域社会及び学生のニーズを把握し、参加大学が連携して行う各種事業に反映させるため、次の事業を行う。

- (1) 大学等連携推進評議会を活用し、様々なステークホルダー等から本法人の事業内容や運営に対する意見を聴取
- (2) 参加大学間において定期的に情報共有や意見交換を実施

2-2-2: 大学等連携推進事業の実施体制の整備

連携事業の円滑な実施や教育の質を担保するため、次の委員会を開催する。

(1) 連携事業実施委員会

- ① 委員会傘下に設置した検討 WG が円滑に活動できるよう、活動の進捗状況を把握し、連携を進める上での課題等については、必要に応じて参加大学へ検討を依頼する。

(2) 教育の質保証委員会

- ① 連携開設科目事業の計画に対し質保証の観点から検証を行うとともに、質保証を担保するために整備された基準等に基づき、実施後の点検・評価を行う。
- ② 連携開設科目事業の点検・評価における各観点や点検・評価項目について、これまで行った点検・評価において課題となった点の精査や基準等の見直しを行い、第3期中期事業計画(令和9年度～11年度)から適用するため、各観点や点検・評価基準について整備する。

2-2-3: 具体的な大学等連携推進事業の実施

大学等連携推進方針及び中期事業計画並びに本事業計画書に定める活動方針に沿って、教育及び研究並びに管理運営をはじめとする様々な分野において、以下の大学間連携事業を実施する。

(1) 学生教育の充実

- ① 教養教育において、参加大学の教育リソースを最大限活用した連携開設科目の充実により、教養教育課程における連携開設科目の講義科目数を、令和9年度までに原則として85%以上とする。
- ② 参加大学間の学生の円滑な移動手段を確保するとともに、県内の他の高等教育機関との連携に向けて、オンデマンド授業の充実等、多様な授業形態の検討を進め、学生の積極的な履修を促す。

(2) 高度専門人材及び産業振興に資する人材育成

- ① 看護教育分野では、大学院課程における連携開設科目を引き続き開講する。また、学士課程における連携開設科目開設の検討を進める。
- ② 幼児教育にかかる連携開設科目を引き続き開講し、内容の検証・見直し及び改善を図る。引き続き大学院における幼児教育分野の設置に関する検討を進める。また、やまなし幼児教育センターとの連携を促進し、県内幼児教育・保育の質の向上を図る。
- ③ 教職課程分野における連携開設科目を引き続き開講し、内容の検証・見直し及び改善を図る。
- ④ 参加大学の大学院構想の実現に向け、本法人の枠組みを活用した連携内容について検討する。
- ⑤ 学部専門科目として、SPARC 事業の実施に伴う連携開設科目を次年度以降の開講に向けて開設する。

(3) 教育資源の有効活用

- ① 参加大学の学生を対象とした各種就活ガイダンス、企業研究会、セミナー等の共同就職支援事業を実施する。
- ② 外国語カフェ、TOEIC 講座、日本文化体験イベントなどの国際交流行事等、参加大学が行う国際交流に関する活動等への相互参加を推進する。
- ③ リカレント教育プログラムの実施に向け、本法人の枠組みを活用した連携について検討を行う。

(4) 共同研究の実施

- ① 参加大学間の共同研究を推進する仕組みを構築し、研究者への支援を実施する。
- ② 共同研究等の外部資金獲得及び法令順守等の体制整備に向けた学内研修会を相互利用し、意識啓発を図る。

(5) 学生及び教職員の交流

- ① イベントに関するボランティア募集情報の提供をする。また、地域活性化の活動・ボランティア活動の推進に向けて両大学での情報交換及び検討を進める。
- ② 学生支援に関する学内研修会への相互参加を推進する。
- ③ 事務職員の人事交流や教職員向けの合同研修会を引き続き実施する。

(6) 効率的な大学運営

- ① 教養教育課程の効率化を図るため、教養教育科目数の削減を行う。
- ② 参加大学の連携により、スケールメリットを活かした共同調達(電気、消耗品、委託業務契約)を引き続き実施し、ランニングコストの縮減を図る。

2-3:その他

(1) 補助事業への協力

- ① SPARC 事業の採択により、参加大学が、大学等連携推進法人制度の教学上の特例措置を活用した連携開設科目を活用した事業を実施しており、事業実施にあたり本法人の枠組み(各検討 WG)を活用し大学間の調整に協力していく。
- ② 参加大学が、大学等連携推進法人制度を活用した各種補助事業の申請を行う場合においては積極的な協力を行う。

(2) 大学等連携推進法人制度の情報提供・他機関との連携

- ① 全国初の大学等連携推進法人として、他の大学・自治体等の視察・問合せに、適宜対応し、それらの大学等の取組に引き続き協力していく。
- ② 大学等連携推進法人制度を活用した山梨県内の他の高等教育機関との連携に向けて、必要な調査・検討、情報交換等を積極的に進める。

以上

令和 8 年度 連携開設科目一覧

主幹大学	継続	新規	合計
山梨大学	96	10	106
山梨県立大学	71	5	76
合計	167	15	182

(教養教育分野)

No.	科目名	主幹大学	備考
1	日本語学への招待	山梨大学	新規
2	公共政策とスポーツ	山梨大学	新規
3	生成 AI 活用入門	山梨大学	新規
4	キャリア形成における様々な障壁を考える	山梨大学	新規
5	障害学生支援とキャンパスアクセシビリティ	山梨大学	新規
6	いじめ事例の検討を通して学ぶ心理支援Ⅰ	山梨大学	新規
7	いじめ事例の検討を通して学ぶ心理支援Ⅱ	山梨大学	新規
8	学びのユニバーサルデザイン	山梨大学	新規
9	スポーツと社会	山梨大学	新規
10	キャリアデザインⅡ	山梨県立大学	新規
11	中国語Ⅰa	山梨県立大学	新規
12	中国語Ⅰb	山梨県立大学	新規
13	チームビルディングスキル	山梨県立大学	新規
14	ネイチャーガイド演習2	山梨県立大学	新規
15	頭と身体の運動学	山梨大学	継続
16	直近の子どもを取り巻く疾患と自らのウェルビーイングについて	山梨大学	継続
17	地球科学の未解決問題	山梨大学	継続
18	生命を科学する	山梨大学	継続
19	水圏植物の生物学	山梨大学	継続
20	人体の生命科学	山梨大学	継続
21	身近な健康情報を科学する	山梨大学	継続
22	自然災害と都市防災	山梨大学	継続
23	子どもと自然	山梨大学	継続
24	現代生活とバイオテクノロジー	山梨大学	継続
25	運動学習とスポーツ	山梨大学	継続
26	医療の最先端	山梨大学	継続

27	医工学と現代社会	山梨大学	継続
28	筋肉をデザインする	山梨大学	継続
29	プラスチックの科学	山梨大学	継続
30	富士山学	山梨大学	継続
31	野外活動と生涯スポーツ	山梨大学	継続
32	ガイア仮説と地球システム科学	山梨大学	継続
33	臨床心理学を学ぶ	山梨大学	継続
34	暮らしの中の美と形	山梨大学	継続
35	日本事情 I	山梨大学	継続
36	日本事情 II	山梨大学	継続
37	源氏物語の世界	山梨大学	継続
38	切り絵と文化	山梨大学	継続
39	人間理解の心理学	山梨大学	継続
40	心理学への誘い	山梨大学	継続
41	心に寄り添うコミュニケーションスキル	山梨大学	継続
42	小説における〈他者〉の問題	山梨大学	継続
43	書の様式と鑑賞	山梨大学	継続
44	自己理解のための深層心理学	山梨大学	継続
45	現代美術入門	山梨大学	継続
46	現代中国の社会と文学	山梨大学	継続
47	日本服飾史逍遥	山梨大学	継続
48	現代社会のための応用行動分析学入門	山梨大学	継続
49	映画から見るラテンアメリカの国々(米国のヒスパニック社会を含む)	山梨大学	継続
50	わたしたちの法学	山梨大学	継続
51	フランス現代思想	山梨大学	継続
52	ピアノ音楽からみる音楽と社会	山梨大学	継続
53	ドイツ語圏の文学	山梨大学	継続
54	ドイツフリーメイソン史	山梨大学	継続
55	歴史学からみた地域社会	山梨大学	継続
56	物理パズルで親しむ身近な自然現象	山梨大学	継続
57	超小型電動車の力学	山梨大学	継続
58	中世ヨーロッパの社会と価値観	山梨大学	継続
59	相対性理論への招待	山梨大学	継続
60	数理モデル入門	山梨大学	継続
61	数学的に考えるとはどういうことか	山梨大学	継続
62	数と三角関数	山梨大学	継続

63	人間とコンピュータ	山梨大学	継続
64	人と社会の情報化	山梨大学	継続
65	考古学からみた人類史	山梨大学	継続
66	光る分子の科学	山梨大学	継続
67	現代数学入門	山梨大学	継続
68	教育と思想の歴史	山梨大学	継続
69	家庭の中のエレクトロニクス	山梨大学	継続
70	映画の社会学	山梨大学	継続
71	ワインと宝石	山梨大学	継続
72	初等確率論入門	山梨大学	継続
73	DAW 演習	山梨大学	継続
74	AI・デジタル社会の歩み方(1)	山梨大学	継続
75	AI・デジタル社会の歩み方(2)	山梨大学	継続
76	幼児期のインクルーシブ教育	山梨大学	継続
77	乳幼児期の学びと社会	山梨大学	継続
78	大学入学から考える多様性とアメリカ社会	山梨大学	継続
79	多様な教育的ニーズの理解と教育	山梨大学	継続
80	生活設計論	山梨大学	継続
81	障害のある子どもの発達保障	山梨大学	継続
82	山梨大学からみる大学の歴史と現在	山梨大学	継続
83	現代教育政策論	山梨大学	継続
84	ソクラテスの哲学	山梨大学	継続
85	Language and Communication across Cultures	山梨大学	継続
86	Japan Viewed from the Inside and Outside	山梨大学	継続
87	Intercultural Understanding through Images	山梨大学	継続
88	グローバルヘルス入門 基礎編	山梨大学	継続
89	グローバルヘルス入門 実践編	山梨大学	継続
90	データサイエンス入門	山梨大学	継続
91	English for Studying Abroad I	山梨大学	継続
92	English for Studying Abroad II	山梨大学	継続
93	フューチャーサーチ	山梨大学	継続
94	Health System and Well-being In the World	山梨大学	継続
95	環境論	山梨県立大学	継続
96	災害支援	山梨県立大学	継続
97	文化とコミュニケーション	山梨県立大学	継続
98	社会と政治	山梨県立大学	継続

99	生と幸福	山梨県立大学	継続
100	VUCA 時代のキャリアレジリエンス	山梨県立大学	継続
101	地域のチャレンジ1	山梨県立大学	継続
102	地域のチャレンジ2	山梨県立大学	継続
103	グローバルマインドとスキル	山梨県立大学	継続
104	問題発見の技法	山梨県立大学	継続
105	アントレプレナーシップとスキル	山梨県立大学	継続
106	グローバルビジネススキル	山梨県立大学	継続
107	アイデア共創実践	山梨県立大学	継続
108	ビジネス共創実践	山梨県立大学	継続
109	人間と心	山梨県立大学	継続
110	倫理学	山梨県立大学	継続
111	地域資源の保全と活用	山梨県立大学	継続
112	観光実践マネジメント講座	山梨県立大学	継続
113	ネイチャーガイド演習1	山梨県立大学	継続
114	まちづくりの思想と技術	山梨県立大学	継続
115	ワークショップデザイン	山梨県立大学	継続
116	政策づくり実践演習	山梨県立大学	継続
117	政策づくりの技法	山梨県立大学	継続
118	ローカルデザイン実践演習	山梨県立大学	継続
119	地域しごと概論(経営マインド)	山梨県立大学	継続
120	企業がチャレンジする経営革新	山梨県立大学	継続
121	事業計画づくりワークショップ	山梨県立大学	継続
122	トレンド予測の手法	山梨県立大学	継続
123	イノベーション創造の基礎と実践	山梨県立大学	継続
124	ブランディング基礎と実践	山梨県立大学	継続
125	企業におけるレクチャーと現場研修	山梨県立大学	継続
126	多文化社会とことば	山梨県立大学	継続
127	芸術活動をととした多様性協働プロジェクト	山梨県立大学	継続
128	多文化共生の現場を歩く	山梨県立大学	継続
129	地域の豊かさ	山梨県立大学	継続
130	韓国語 Ia	山梨県立大学	継続
131	韓国語 Ib	山梨県立大学	継続
132	社会と法	山梨県立大学	継続
133	料理とワインのマリアージュ	山梨県立大学	継続
134	やまなしワイン入門講座	山梨県立大学	継続
135	付加価値を生む地域資源の保全とブランド化	山梨県立大学	継続

136	多文化共生地域課題1(山梨県の多文化化)	山梨県立大学	継続
137	多文化共生地域課題2(多文化社会における対人援助/外国人と人権)	山梨県立大学	継続
138	情報学概論	山梨県立大学	継続
139	山梨の自然と文化	山梨県立大学	継続
140	山梨の産業とグローバル化	山梨県立大学	継続
141	U理論と自己理解	山梨県立大学	継続
142	多分野連携イノベーション	山梨県立大学	継続
143	スポーツ講義	山梨県立大学	継続
144	グローバル化論	山梨県立大学	継続
145	文化人類学	山梨県立大学	継続
146	科学技術社会論	山梨県立大学	継続
147	アートと現代社会(文学)	山梨県立大学	継続
148	哲学	山梨県立大学	継続
149	ナラティブを聴く:病いの物語と文化理解	山梨県立大学	継続
150	共生社会を創る~教育の場から~	山梨県立大学	継続
151	共生社会を創る~保健医療福祉の場から~	山梨県立大学	継続
152	ヒューマンサービスイノベーション	山梨県立大学	継続
153	日本ワイン歴史講座	山梨県立大学	継続
154	地域における金融機関の役割	山梨県立大学	継続
155	クラウドファンディング実践演習	山梨県立大学	継続
156	世界の経営と技術の最前線を学ぶ	山梨県立大学	継続

(留学生対象科目)

No.	科目名	主幹大学	備考
157	日本語初中級 IA	山梨大学	継続
158	日本語初中級 IB	山梨大学	継続
159	日本語初中級 IIA	山梨大学	継続
160	日本語初中級 IIB	山梨大学	継続
161	日本語中級 IB	山梨大学	継続
162	日本語中級 IIA	山梨大学	継続
163	日本語中上級 I	山梨大学	継続
164	日本語中上級 II	山梨大学	継続
165	日本語上級 I	山梨大学	継続
166	日本語上級 II	山梨大学	継続
167	ビジネス日本語	山梨大学	継続
168	日本語LR	山梨大学	継続

169	アカデミックジャパニーズ(Writing)	山梨県立大学	継続
170	アカデミックジャパニーズ(Reading)	山梨県立大学	継続

(看護教育分野)

No.	科目名	主幹大学	備考
171	国際看護学特論	山梨大学	継続
172	排泄看護学特論	山梨大学	継続
173	看護政策学	山梨県立大学	継続
174	コンサルテーション	山梨県立大学	継続
175	看護倫理学	山梨県立大学	継続
176	フィジカルアセスメント	山梨県立大学	継続
177	看護管理論	山梨県立大学	継続

(幼児教育分野)

No.	科目名	主幹大学	備考
178	継続観察実習	山梨大学	継続
179	保育者指導	山梨県立大学	継続

(教職課程分野)

No.	科目名	主幹大学	備考
180	アメリカ文学史	山梨大学	新規
181	英米文学講読Ⅱ	山梨大学	継続
182	欧米の国際関係	山梨県立大学	継続